

山崎伸子

NOBUKO YAMAZAKI

古希記念コンサート

70TH BIRTHDAY CELEBRATION CONCERT

J.S. バッハ：無伴奏チェロ組曲第3番 ハ長調 BWV1009 *
J.S. Bach: Suite for Cello Solo No.3 in C major, BWV1009

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第16番 ヘ長調 op.135 *
Beethoven: String Quartet No. 16 in F major, op. 135

クレンゲル：即興曲 op.30
Klengel: Impromptu op. 30

ポッパー：演奏会用ポロネーズ op.14
Popper: Polonaise de Concert op. 14

チャイコフスキー：
ロココ風の主題による変奏曲 op. 33 *
Tchaikovsky: Variations on a Rococo Theme in A major, op. 33

ダヴィドフ：讃歌
Davydov: Hymn

ホルスト：「惑星」 op.32 より 第4曲「木星」
Holst: The Planets op. 32: IV. "Jupiter"

(終演予定時刻 18:00 ※休憩2回を含む)

CELLO

山崎 伸子 Nobuko Yamazaki *

CONDUCTOR

円光寺雅彦 Masahiko Enkoji

STRING QUARTET

Quartett Muss es sein?

CELLO ENSEMBLE

山崎伸子門下生による
チェロ・アンサンブル

2027.2.14 ①

15:00 開演 (14:15 開場)

日本製鉄紀尾井ホール

SUNDAY, FEBRUARY 14, 2027 AT 15:00
NIPPON STEEL KIOI HALL, TOKYO

S 席 ¥5,000

A 席 ¥4,000

学生 ¥2,000



主催：山崎伸子古希記念コンサート実行委員会 制作：KAJIMOTO 後援：桐朋学園大学

© 武蔵野

お祝いのメッセージ

私が初めて先生のご指導を受けたのは、先生が留学される前のことでした。レッスンでは大変厳しいお言葉を頂きましたが、終わればいつもお茶や食事を御馳走して下さい。未熟な私は、音楽には厳しいけれど普段はお優しい方だ、などと思っていました。あの厳しさこそが本当の優しさであつたと分かったのは、ずっと後のことです。半世紀以上にわたり弓を執り、一音一音に誠実に向き合われ、教室からは数多の若い奏者を送り出してこられました。本日ここに集った門弟の数と顔ぶれが、そのまま先生の稀有な歩みを物語っております。

ご多忙の日々が続けられることと存じますが、このお祝いのコンサートを一つの通過点として、これからも変わらず我々をお導き下さいますよう、心よりお願い申し上げます

門下生代表 渡部 玄一（チェリスト）

山崎 伸子（チェロ） Nobuko Yamazaki, Cello



広島生まれ。桐朋学園大学音楽学部卒業。齋藤秀雄、レイヌ・フラショー、堤剛、安田謙一郎、藤原真理各氏に師事。第1回民音室内楽コンクール第1位、第44回日本音楽コンクール・チェロ部門第1位。同大学を卒業後、文化庁海外派遣研修員として、ジュネーヴでピエール・フルニエに師事。帰国後、日本国内の主要オーケストラとの共演、リサイタル、室内楽など、長年にわたり卓越した音楽性を発揮している。2007年より10年にわたり津田ホール、浜離宮朝日ホール、紀尾井ホールでチェロ・ソナタ・シリーズを開催。同シリーズと平行して10枚のアルバムと「J.S. バッハ：無伴奏組曲全曲」をナミ・レコードよりリリース。2017年度からフィリアホールにて山崎伸子プロデュース「未来に繋ぐ室内楽」と題し、優秀な若手演奏家の紹介と室内楽を共演するシリーズを開催している。「村松賞」、「グローバル音楽賞第1回奨励賞」「東燃ゼネラル音楽賞 奨励賞」受賞。現在、桐朋学園大学特任教授、東京藝術大学名誉教授。使用楽器はヒエロニムス・アマティ 1641年製。2026年、デビュー50周年を迎えた。

円光寺雅彦（指揮） Masahiko Enkoji, Conductor



桐朋学園大学指揮科卒業。指揮を齋藤秀雄氏、ピアノを井口愛子氏に師事。1980年ウィーン国立音楽大学に留学しオトマール・スウィトナー氏に師事。これまでに東京フィル指揮者、仙台フィル常任指揮者、札幌交響楽団正指揮者、名古屋フィル正指揮者などを務め、数多くの公演を共にしながらオーケストラの飛躍的な発展に貢献してきた。N響、読響、新日本フィル、東響、群響、大阪フィル、広響、九響をはじめとするほとんどの国内オーケストラや海外ではブラハ響、BBC ウェールズ響、ベルゲン・フィル、フランス・ブルターニュ管弦楽団に客演し、深い音楽性と的確な指揮で多くの聴衆を魅了。テレビなどの番組にも定期的に出演するなど、幅広い活躍を続けている。

Quartett Muss es sein?（弦楽四重奏）

String quartet



都響コンサートマスターの水谷晃、読響次席第一ヴァイオリン奏者の對馬哲男、N響首席ヴィオラ奏者の村上淳一郎、そしてチェロ奏者の山崎伸子により、2025年結成。名称は、ベートーヴェンの最後の弦楽四重奏曲第16番の終楽章にベートーヴェン自身が記した語（Muss es sein? Es muss sein! : そうでなければならないのか？ そうでなければならないのだ！）に由来。

現在、6年にわたるベートーヴェンの弦楽四重奏曲全曲演奏会を進行中。アンサンブルを知り尽くした4人に大きな期待が寄せられている。

出演門下生

石崎翔子、和泉景子、泉優志、磯野正明、伊藤文嗣、伊東裕、上原ありす、内田麒麟、浦川うらら、上森祥平、海老澤洋三、遠藤真理、大内麻央、小野木遼、小野順平、加藤陽子、門脇大樹、蟹江慶行、菊田鉄平、北垣彩、北村陽、木下通子、グレイ理沙、小杉直寛、小林世佳、佐古健一、佐藤有沙、佐藤響、佐藤晴真、柴田花音、志水伶衣、下島万乃、高橋純子、武澤秀平、辻本玲、友田唱、中田有、中実穂、夏秋裕一、西村絵里子、長谷川彰子、長谷川陽子、平田幸恵、福井綾、藤原秀章、古川展生、古川淑恵、益田香音、増本麻理、松蔭ひかり、松本征志、水谷桜、宮城健、宮之原陽太、村岡苑子、村上真璃南、森山涼介、矢口里菜子、八代瑞希、山澤慧、山田幹子、山本彩子、山本大、山本直輝、山本裕康、吉川真未、吉田弦、渡部玄一（敬称略、五十音順）



日本製鉄紀尾井ホール 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 6-5

- JR/東京メトロ「四ツ谷」駅から徒歩 6 分、
- 東京メトロ「赤坂見附」「麹町」「永田町」駅から徒歩 8 分

※日本製鉄紀尾井ホール・日本製鉄紀尾井小ホールへのご来場には、公共交通機関のご利用をお願いします。
※当ホール建物には、ご鑑賞を目的に来館する一般のお客様のための駐車場・駐輪場はありません。

チケットのお申込み

一般発売：2026.9.11（金）10:00-

■ カジモト・イープラス

050-3185-6728（オペレーター対応 10:00-18:00）

www.kajimotomusic.com/concerts/2027-nobuko-yamazaki/

■ e+（イープラス）<https://eplus.jp/>

ホームページからお申込みいただけます（パソコンもケータイも同じアドレス）。

*やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる可能性がございます。
曲目変更等に伴う払い戻しはいたしませんので、予めご了承ください。
*未就学児のご入場はお断りしております。

お問合せ

■KAJIMOTO

ticket@kajimotomusic.com <https://www.kajimotomusic.com/>

〒104-0061 東京都中央区銀座 6-4-1 東海堂銀座ビル 5 階